

映画 **お母さんが一緒** 公開記念

RYOSUKE
HASHIGUCHI

「ひと」を描く映画監督
橋口亮輔
作品
特別
上映

各回上映終了後にゲストによるトークショーを予定。
全作フィルム上映! (予定)

『ぐるりのこと。』

『二十才の微熱』

『渚のシンドバッド』



「ひと」を描く映画監督 橋口亮輔作品 特別上映

最新作『お母さんが一緒』の公開(7/12より)を控える、稀代の映画監督・橋口亮輔。デビュー作『二十才の微熱』(93)から前作『恋人たち』(15)まで、これまで発表した長編映画は5本。寡作ながらどの作品も国内外で高い評価を受け、国内の映画賞を数多く受賞している。デビュー以降、徹底して「人間」を、「ひと」を描きつづけ、時代の先駆者でありつづける橋口亮輔を今こそ、再発見。

めんどうくさくさいけど、いとおしい。いろいろあるけど、一緒にいたい。

『ぐるりのこと。』

7/1(月)19:00~

ゲスト 橋口亮輔監督、
(予定) リリー・フランキー



©2008「ぐるりのこと。」プロデュース

監督・脚本・原作・編集:橋口亮輔
出演:木村多江、リリー・フランキー、信賞美津子
2008年公開/140分/35mm上映

何事もきちんとしたい妻・翔子(木村多江)と、法廷画家の夫・カナオ(リリー・フランキー)。バブル崩壊後の90年代初頭から9.11テロに至るまでの10年間を舞台に、初めての子の死をきっかけにうつになっていく翔子と彼女に寄り添うカナオ、決して離れることのない夫婦の姿を通して、ひととひとの間に生まれる希望を描いた珠玉の名作。

僕がなりたいのは、なんでもないもの。

『二十才の微熱』

7/2(火)19:00~

ゲスト 橋口亮輔監督、
(予定) 森直人(映画評論家)



©びあ/ポニーキャニオン

監督・脚本:橋口亮輔
出演:袴田吉彦、片岡礼子、遠藤雅
1993年公開/114分/16mm上映
※フィルムの特性上、画面に縦傷が入る箇所があります。予めご了承ください。

『夕顔の秘密』(89)で1989年度「PFFアワード」グランプリを受賞した橋口監督が、PFFスカラシップを受けて制作した長編劇映画デビュー作。昼間は大学生、夜はゲイバーで男たちに体を売る主人公(袴田吉彦)の姿を通して、生きづらさや孤独を抱えるひとびとの心に寄り添い、彼らをそのまま肯定する橋口監督のまなざしはデビューから一貫している。

優しいふりをするなよ

『渚のシンドバッド』

7/3(水)19:00~

ゲスト 橋口亮輔監督、
(予定) 奥山大史監督(『ぼくのお日さま』)



©1995 TOHO CO., LTD.

監督・脚本:橋口亮輔
出演:岡田義徳、草野康太、浜崎あゆみ
1995年公開/114分/35mm上映

長編劇映画2作目となる本作の舞台は、橋口監督の出身地・長崎。同性の同級生・吉田(草野康太)に恋する伊藤(岡田義徳)、転校生の相原(浜崎あゆみ)ら高校生6人の心の揺れを、瑞々しく鮮やかに映した青春群像劇であり、ひとがひとを好きになることの美しさと残酷さが描かれた傑作。

各回一律 1,200円 (税込)

料金

※ゲストは都合により、予告なく変更となる場合がございます。
※チケットは各上映日の3日前0:00からユーロスペースオンラインにて発売。
<https://www.euro-ticket.jp/eurospace/schedule/>

会場



東京都渋谷区円山町1-5 3F TEL:03-3461-0211



橋口亮輔監督最新作『お母さんが一緒』

家族って、わずらわしくて、厄介で、それでもやっぱり、いとおしい。

母親を連れて温泉にやってきた三姉妹。楽しいはずの旅はいつしか壮絶な姉妹喧嘩へ……。稀代の映画監督・橋口亮輔が、ペヤンヌマキによる同名の舞台を脚色。『恋人たち』(2015)以来9年ぶりとなる監督最新作は、笑えて泣ける傑作ホームドラマ。

原作・脚本:ペヤンヌマキ 監督・脚色:橋口亮輔
出演:江口のりこ 内田慈 古川琴音 青山ファール勝ち(ネルソンス)
配給:クロックワークス ©2024松竹プロードキャスティング
www.okaasan-movie.com

7/12(金)公開

BS松竹東急(BS260ch・全国無料放送)の「よる8銀座シネマ」にて『お母さんが一緒』公開記念 橋口亮輔監督特集をオンエア!

7/ 8(月) 夜8:00~『ハッシュ!』
7/11(木) 夜8:00~『恋人たち』

www.shochiku-tokyu.co.jp/program/movie/

